

畜産健康管理AI

300万体のAIが守る、家畜一頭一頭の健康

💚 24時間体制で病気を予防し、アニマルウェルフェアを実現

🏠 北海道・十勝の大規模酪農場での導入事例

- 🔌 5000頭の乳牛に生体センサーを装着、個体管理を完全デジタル化
- 🔪 AIが体温変化を検知：「牛番号2145に発熱の兆候、乳房炎リスク85%」
- 📞 獣医への自動アラート：発症前に治療開始、重症化ゼロを達成
- 📈 乳量の個体別最適化：ストレスフリーで平均乳量20%向上
- 💚 結果：病気による損失90%減、牛の平均寿命2年延長

🛡️ 300万体のAI健康守護システム

行動分析AI

歩行パターンから健康状態を判定

100万体制

疾病予測AI

72時間前に病気リスクを警告

80万体制

飼料最適化AI

個体別に最適な栄養配合を計算

60万体制

★ 革新的な成果

健康指標の改善

- ✓ 疾病率：80%削減
- ✓ 死亡率：90%削減
- ✓ 抗生物質使用：95%削減

生産性向上

- ✓ 乳量：20%増加
- ✓ 肉質：A5率85%
- ✓ 繁殖成功率：95%達成

動物福祉スコア

98/100

世界最高水準



診断精度

99.7%

病気検出率



早期発見

72時間

発症前予測



データ量

1TB/日

生体情報

センシング技術基盤

多層センサーシステム

- ウェアラブル：体温・心拍・活動量
- 環境センサー：温湿度・アンモニア濃度
- 画像解析：表情・姿勢・歩行分析

AI診断システム

- パターン認識：1000万症例を学習
- 遺伝子解析：疾病リスクを予測
- 統合診断：獣医師の判断を支援

畜産エコシステム連携

獣医療ネットワーク

- 遠隔診療：専門医と24時間連携
- 症例共有：全国の知見を集約
- 薬剤管理：最適投薬をAI支援

トレーサビリティ

- 個体履歴：出生から出荷まで完全記録
- 品質保証：健康データで付加価値
- 消費者信頼：透明性で安心提供

期待効果と投資対効果

= SB C&S

段階的な効果測定

短期効果（1年）

- 💚 死亡率: 90%削減
- 💚 薬剤費: 70%削減
- 💚 獣医費用: 50%削減

中期効果（3年）

- 📈 生産性: 30%向上
- 🏆 品質: プレミアム率80%
- 🌱 環境負荷: 40%削減

長期効果（10年）

- 🌐 輸出: 高品質畜産品で世界市場へ
- 🔄 品種改良: AIによる最適交配

投資対効果分析

初期投資

AI開発・実装	150億円
センサー機器	80億円
インフラ整備	50億円
教育・導入支援	20億円
合計	300億円

年間収益改善

損失削減	200億円
生産性向上	150億円
高付加価値化	100億円
年間効果	450億円/年

ROI: 20倍

10年間での投資リターン
2年目で投資回収完了

※アニマルウェルフェア向上による社会的価値を含む